

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 10商工業振興費

◎商工業振興対策の経費

商店街振興事業

【 産業振興課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

産業振興: 農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 商店街等

意図 商店街が行う各種事業に対して支援を行い、商店街の活性化を図るため。

効果 商店街を支援することにより、まちの活性化と地域商業の振興の実現を図る。

【事業の内容】

(1) 商店街助成事業

・ 鎌倉市商店街連合会の組織強化と活性化を支援した。

(2) 商店街振興事業

・ まちの活性化の源である商店街の振興を図るため、商店街が計画する各種事業に対して支援を行った。

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,717	14,217	12,952		1,265

主な支出内訳

・ 商店街助成事業

商店街連合会補助金

1,988

・ 商店街振興事業

お店紹介HP業種別検索ページ作成委託料

28

商店街街路灯等維持管理費補助金

6,335

商店街活性化事業費補助金

4,601

商店街空き店舗等活用事業費補助金

0

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-25 商店街振興事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	379 商店街助成事業					
		381 商店街振興事業					
主管課	産業振興課	関連課					
分野名	産業振興						
目標 (目標値)	商店街が、本市商業の核、活力あるまちづくりの核となるべく支援する。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	12,952千円	11,809千円	14,980千円	事務事業の内容 ①商店街連合会補助 事業 ②商店街活性化事業 ③空き店舗活用事業 ④街路灯維持管理事 業 ⑤モデル商店街整備 事業 ⑥お店紹介ホーム ページ事業		
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	12,952千円	11,809千円	14,980千円			
	人員配置数	1.2人	2.4人	2.9人			
	人件費	11,546千円	22,896千円	26,482千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	24,498千円	34,705円	41,462円			
	市民1人当 りの経費	139円	197円	237円			
	対象者1人 当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
商店街会員数	×	目標値	2,300	2,300	2,300		
		実績値	2,159	2,134			
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
1店舗あたり経費 (総事業費÷会員数)	△	目標値	15,597円	15,597円	14,128円		
		実績値	16,615円	13,734円			
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
小売業年間商品販売額	次回の実績値は21年度商 業統計調査結果で判明	目標値	—	17,796千円	17,796千円	17,796千円	
		実績値	17,796千円	—	—		
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している							
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・商店街活性化の成果、商店街補助事業のコストパフォーマンスについて、客観的な指標で示すことが求められている。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・商店街活性化事業費補助については、イベント開催による集客数やセールによる売上高などの報告を求めた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・商店街の衰退は全国的な問題であり、本市においても駅周辺など一部を除き、多くの商店街が厳しい状況にある。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・21年度から運用を開始する空き店舗出店補助事業により、空き店舗の解消に取り組む。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	空き店舗出店補助事業をはじめ、商店街の組織力増強のための施策を展開する。				
担当課長氏名:		磯崎 勇次			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	商店街は、商いの場であるとともに、まちの顔、憩いと楽しみの場、地域コミュニティの核としての存在意義がますます高まっており、地域の特性を生かした商店街活性化への支援を行う。				
担当部名	市民経済部	部長名	相澤 千香子		